

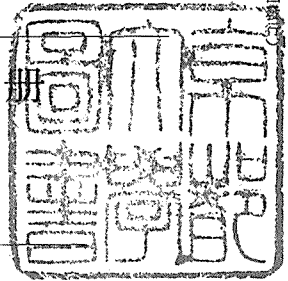
昭和二十四年六月一日運輸省特別授受認雜誌第四五三號
昭和三十一年六月十五日印刷（毎月一回發行）

哲學研究

第三十八卷 第十册

第四百四十四號

昭和三十一年六月二十日發行



神の無名性について……………有賀鐵太郎
——特にフイロンにおける——

幸福と人間像（完）……………岸畑 豊
——ベンタムの幸福の概念について(1)——

ヘーゲルの二元性……………橋本峰雄

新着外國雜誌所載論文一覽

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行う
 - (一) 毎月一回研究会を開く
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年一、二二〇圓、又は半年六一〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎	池田義祐	石田仁	井島勉	上野照夫	白井二尙	酒井修	重澤俊郎	島原太夫	園原三郎	高田三郎	武内義範	田中美知太郎	長尾雅人	西谷啓治	野田又夫	松尾義海	三宅剛一	矢田部達郎
-------	------	-----	-----	------	------	-----	------	------	------	------	------	--------	------	------	------	------	------	-------

(十) Ibid. p. 242.

(八) Ibid.

(九) Ex. 3: 14 b では神の名は 'ehyeh の一語だけになっている。それゆえ 14 a の 'ehyeh 'asher 'ehyeh も、それを強化した意味に取るには理由はあつたと思う。さきさき最初の 'ehyeh を繫辭と見て、「わたしはトビーニエである」すなわち「わたしはトバニエである」と訳することも充分可能である。

因みにセマムヌキントでは 14 a に *ehyeh eia ro ay* とあり、14 b には *ay* とある。どころが *ay* カタでは前者が *ego sum qui sum* と訳して、後者が *qui est* と訳して、むしろギリシア語に近づいてい

'ehyeh 'asher 'ehyeh としようのは Yehveh なる神名についての E のパラフレイズであるが、それが語原的に正しいかどうかは自らから別の問題である。だが Yehveh (YHWH) さき *hayah* (HYH) から来たものと見ることは可なり蓋然性の多い解釋である。'ehyeh のトビーニエ形(不完一、男性三人稱單數)は *yehyeh* だからである。その場合それは「かれはハイヤーせしめる(であらう)」を意味する。そうとすればヤハウェは單に自らハイヤーするばかりでなく、またハイヤーせしめる者である。ハイヤーすることが、同時にまたハイヤーせしめることであることは、有る者が同時に有らしめる者であるといふことよりも考え易いことである。(筆者 京都大學文學部 基督教學教授)

前 號 目 次

東西の繪畫における	植田 壽藏
空間構造の比較	
— レオナルドの研究の一節 —	
幸福と人間像(表題)	岸 畑 豊
— 「パンタム」の幸福の概念について(1)	
埋メトスに於ける esse 論	山 田 晶
<i>existere in se</i> (2)	
— <i>existere</i> の意味の探察と詩的表現 —	
著者外國遊學所載論文一覽	

神の無名性について

受贈雜誌

經濟論叢

(京都大學經濟學部) 第七十七卷第三號、第四號、第五號

國語國文

(京都大學文學部) 第二十五卷第一號、第二號、第三號、第四號、第五號

文學研究

(九州大學文學部) 第五十四號

心理學研究

(日本心理學會) 第二十六卷第六號

The Japanese Psychological Research
No. 3, 4, 1926.

Tohoku Psychological Folio
Tohoku University
Tomus. XV, 1, 2.

人文學報

(東京帝國大學人文學部) 第十三號、第十四號

美學

(五學會) 第二十四號、第二十五號

史學雜誌

(東京大學文學部) 第六十七號、第六十八號、第六十九號、第七十號、第七十一號、第七十二號、第七十三號、第七十四號、第七十五號、第七十六號

一橋論叢

(一橋大學) 第一種第五號、第二種第五號、第五號

人文研究

(津奈川大學人文學部) 第五號

人文

(京都大學教養部) 第一號

東北大學部研究年報

第六號

大分大學學藝學部研究紀要
第五號(人文科學)

受贈雜誌

立命館文學

(立命館大學人文科學研究所) 第一〇〇號、第一〇一號、第一〇二號

研究と資料

(大阪市立大學經濟研究所) 第一〇〇號、第一〇一號、第一〇二號

經濟學雜誌

(大阪市立大學經濟研究所) 第一〇〇號、第一〇一號、第一〇二號

東京大學學園新聞

二五九、二六〇號

次號論文預告

ホッブス哲學の再評價……………平下 欣一

カントの先驗的統覺……………高橋 昭二

ヘーゲルの二元性(完)……………橋本 醇雄

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費(年一、二二〇圓又は半年六一〇圓)をお拂込下さい

「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」

一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、一年分(又は半年分)會費は原則として本誌十二冊(又は六冊)の送附済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年(又は半年)毎に精算します

一、會員の轉居入退會等(編集事務以外的一切)の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい

一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛に御送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十一年六月十五日印刷
昭和三十一年六月二十日發行

編集人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

右 代 表 者

發行人

酒 井 修
八 坂 淺 太 郎

印刷人

伊 藤 久 春
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

印刷所

弘 文 堂 印 刷 所
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所

株 式 會 社

弘 文 堂

東 京 都 千 代 田 錦 田 燈 河 原 四 〇 四

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金郵税共(一部、定價一

二〇圓・郵税八圓)前金にてお送り下さい

一、特に請求書及び領收書を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和三十一年六月二十五日印刷
（毎月一回）

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXVIII

June, 1956

No. 10

The Unnamability of God Tetsutaro Ariga

'Happiness and the Existence of Man'

—On Bentham's idea of happiness, part I (III) . . . Yutaka Kishihata

Duality in Hegel Mineo Hashimoto

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價
金二一〇圓